

第6回三行詩コンクール佳作作品

作	品	学年	学校名	発表名
<b>&lt;児童・生徒の部&gt; 小学生</b>				
ぼくにはいもうとがいる まいにちケンカする でもいつもいっしょ だいすきだから。		1	南瀬谷小	大竹 碧
ママのつくったごはんには やさしさがつまっている あまくておいしいのは、 わらってつくってくれたから		1	矢向小	吉田 碧
わたしは7にんかぞく あさのおはようから、 よるのおやすみまで、 みんなえがおでおはなしをする		1	東中田小	長田唯花
じゃがバター、ゆげまでおいしいといったらね、 おばあちゃんにこにこわらってた。		1	東山田小	小野寺かれな
ごはんを食べるとき 一人 で食べるより みんなで食 べるほうが おいしいよ		1	笹山小	市村駿之介
がっこうのきゅうしょくは あたたかくておいしい。い つもこころをこめてつくっ てくれてありがとう。		1	小田小	現王園かりん
うれしいな がんばったときの ハイタッチ！		1	原小	前田葵結
どんなにけんかをして、 つぎのあさには、えがおで 「おはよう」		1	原小	渡辺萌々音
いただきます さいごの一つぶまで のこさずに		2	潮田小	かのん
たべものは のこしちゃいけない もったいない		2	間門小	大和条太郎
おかあさんの 作ったおりょうり せかい一		2	中川西小	ドルチェ
たべるっておいしいこと たべるってうれしいこと みんなで元気に のこさずたべる		2	矢向小	びろすけ

第6回三行詩コンクール佳作作品

作 品	学年	学校名	発表名
ぼくたちは毎日命をいただくよ。 にく、さかな、はっぱ、だいじな命。	2	幸ヶ谷小	植竹隼也
おじいちゃん 空の上から見ていてね 私が成長する姿	2	谷本小	竹内一静
お盆に家ぞくで墓参り いのちはつながっているんだね 私もいのちをつなげるよ	2	谷本小	竹内一静
妹がおとまりほいくに行ったらね おとうさんおかあさんひとりじめ	2	荏田南小	小川春菜
まっ白け じいじのあたま 雪山だ あつい夏でも すずしく見える	2	南山田小	河内日和
わがママも 聞いてもらえる おねがいの ずっといたいな おばあちゃんち	2	南山田小	河内日和
おとうさん おしごといつもおつかれね がんばるすがた きらきらしてる	2	南山田小	河内日和
一匹きのとんぼが夕日におかっている とどいたとどいた あきのしょうたいじょう	2	川和東小	東 心愛
いのちはね お金はらっても かえないよ	2	戸塚小	成田将一郎
六かけいのオクラが おいしかったよ がんばって水をあげたからね	2	中和田小	木村しずく
あさおきたら、 パパにおはよう、ママにおはよう、 いもうとにおはようがわがやのルール	2	中和田小	ひょう田心あ
とりさんぶたさんお魚さん 今日も命を、ありがとう。 「いただきます。」	2	中和田小	岡田惟咲

第6回三行詩コンクール佳作作品

作	品	学年	学校名	発表名
いわれるまえにやろう できることは自分で、それ が、お母さんのお手つだい		2	下和泉小	安西悠哉
きょうだいは みんななかよく たすけあい		3	中和田小	こおりやさん
挨拶から一日が気持ちよく始まる。 挨拶で一日が気持ちよく終わる。 挨拶は人の心を暖かくする大切な言葉		3	東中田小	リボン
家族で食べるごはんは 一人で食べるごはんより とってもおいしいよ。		3	矢向小	りょうた
命それは大切な物 一人一人が持っている。 とても大事な物		3	山田小	上西亜美
いのちはね 自分でまもる ものなんだ		3	桜岡小	大竹乃愛
こんにちは・ありがとう あいさつすると元気が出る 気持ちがつながる ひみつ道具みたいだね		3	中尾小	田中諒珂
いのちはね 計算できない かえれない		3	鶴ヶ峰小	上島颯斗
のこさずに たくさん食べて 元気な体		3	東中田小	小池望愛
手つたおう 自分でどんど んできること そしたら家 族もえ顔になるよ		3	平戸小	渡辺紗香
命は人の大事な物 いじめは人の命をうばう物 ぼくはいじめという物をや らないとここに誓います		4	西寺尾第二小	SHOTA
命がきえる きえたらもうあえない だから命は大切		4	西寺尾第二小	SUZUKI

第6回三行詩コンクール佳作作品

作	品	学年	学校名	発表名
作る人、育てる人、つかまえる人と命に感しゃして、心をこめて、「いただきます」		4	原小	ゆう
家族のきずな わたしは今、病気がある。 そこでたすけてくれるのが 家族。家族がいればへいき。		4	西寺尾第二小	わかえ
うそつかない。 やる時は、やる。 これが、家族の合い言葉。 ぼくは、毎日頑張っている。		4	中山小	大久保洵希
ぼくは、生きている、 お母さんからもらった命で、 今までもこれからも、ずっと……。		4	竹山小	せき川ショーンかい
お母さん おいしいごはんありがとう もりもり食べて今日も一日 がんばるね。		4	下和泉小	こまつゆうき
家族みんながそろったら テレビをけして いただきます。		4	谷本小	阿部乃々花
私が生まれる確率は、キセキに近いと教わった。 何だかうれしかったし、がんばって生きようと思った。		5	東山田小	野田ひかり
同じ命はない 一度おとせばもうひろえない だから命はとても特別		5	東山田小	森 泉穂
たった一つの大切な命 パパとママからもらった命 同じ人生二度とない 今を生きよう精一杯		5	茅ヶ崎台小	仙石有沙
ジュージュージュー 少年野球の合宿で 仲間と食べる焼肉は とびきり美味しい特別な味		5	茅ヶ崎台小	大場光晟
母がいなくて私は生まれぬ 父がいなくて私は生まれぬ みんないてこそ初めて、 「家族」になる。		5	茅ヶ崎台小	中田美羽
おいしいよ 弟作った たまごやき		5	茅ヶ崎台小	舛谷玲鳳

第6回三行詩コンクール佳作作品

作	品	学年	学校名	発表名
命はね 人に一つの たから物		5	茅ヶ崎台小	土屋健翔
わが家では ちび デブ ブスは きんくです		5	茅ヶ崎台小	俵和輝
あせかいて のどから手が出る ばんご飯		5	茅ヶ崎台小	中山一輝
「お米を残したら、目がつ ぶれるよ」ともったいない ばあちゃんに言われた いつもピカピカ、感謝の心		5	茅ヶ崎台小	鈴木萌恵子
においにつられてキッチンへ。 ジューっといい音あげる音。 やったー今日はからあげだ。		5	茅ヶ崎台小	高田陽向
うれしい事 悲しい事 いつも聞いてくれると 素直な自分でいられるな		5	茅ヶ崎台小	山本彩
毎朝の、「よい一日でありま すように」の一言は、 父さんがぼくへかけるおま じない。		5	茅ヶ崎台小	津田陽向
大津波 大事な命 うばいさる		5	茅ヶ崎台小	木塚結菜
私の元気のみなもとは お母さんの作った おいしいごはん		5	茅ヶ崎台小	檜山もも花
自然が恵ってくれた おいしさを 粗末にしないで いただきます		5	原小	相澤慶佳
命の重みって、きつと地 球よりも重いよね 命の有り難みって、きつ と宇宙よりも大きいよね		6	西寺尾第二小	歩
命は一つ、 人間がより命の大切さを考えるために一つ。 より守ろうとするために一つ。		6	茅ヶ崎台小	小林泰地

第6回三行詩コンクール佳作作品

作	品	学年	学校名	発表名
あたたかい 母のごはんは 愛ばかり		6	茅ヶ崎台小	金澤麗奈
命とは 一人一個の 宝物		6	茅ヶ崎台小	今野日向
節電しても 明るい家族 やさしい光に みちている		6	茅ヶ崎台小	舟田幸之助
家族は、いつも一緒にいる。 家族といると、安心できる。 家族は、とても大切なものだ。		6	茅ヶ崎台小	佐竹穂香
病気で命をおとした人もいる。 だから、一つの命を大切にする。 普通なことだが大事なこと。		6	茅ヶ崎台小	前沢音花
命は電池とはちがう。 だから命がなくなっても交かんはできない。 だから電源がなくなるまで精一杯生きる。		6	茅ヶ崎台小	山内はな
幸せな家族 家族のきずなは、僕を幸せにしてくれる。 だから、僕も家族を幸せにする。		6	茅ヶ崎台小	茅野優希
心の傷 相談できるの 家族だけ		6	茅ヶ崎台小	竹林龍
死にたいなんて言うな 明日のことは明日考えよう 死にたいなんて言うな 生きたいと言え		6	戸塚小	坂本ゆうま
いただきます。 家族ろろって食べるご飯。 笑顔につつまれ、心もいっ ぱい、ごちそうさま		6	丸山台小	杉村百江梨
「食の魔法」 同じご飯 食べているのに人数で 魔法のように味かわる		6	丸山台小	酒井玲奈
家族の気持を「糸」にして 言葉や思いをあんていく でき上がったものは家族だ けの宝物。		6	瀬戸ヶ谷小	北井 菜生

第6回三行詩コンクール佳作作品

作	品	学年	学校名	発表名
「いってらっしゃい。」の あたりまえの一言が、 家族のきずなに思えます。		6	瀬戸ヶ谷小	池田怜奈
八〇〇〇キロはなれても 見上げる夜空でつながるよ 父とぼくとのかよ		6	瀬戸ヶ谷小	土屋洋人
命の大事さ はじめて知った 三ー一		6	東品濃小	高橋亜也子
<b>&lt;児童・生徒の部&gt; 中学生</b>				
死ぬ勇気より 生きる勇気 一つの命で 増える笑顔		1	共進中	風
元気でいれば良い。生きて いれたいと親や子を思う。 私も思われていたのか。思 われる様になるのだろうか。		2	奈良中	CK
今夜もこんなに暑いのに 家族五人で 座敷で寝転ぶ		2	南が丘中	上本菜摘
朝、おいしいご飯を食べる喜び。 昼、学校のみんなと食べる楽しみ。 夜、家族そろって食べる幸せ。		3	共進中	苺
気がつけば いつも空席 一人分 思い出す 姉がいなくて 盛り上がらない		3	軽井沢中	新井裕貴
<b>&lt;一般の部&gt;</b>				
思春期の息子とケンカしていても必ず言うのね 「頂きます。」と「ご馳走さま。」そのはず好きな おかずにしてますもん			若葉台特別支援	瀬上圭子
おいしいね！ その一言で 疲れとぶ			宮谷小	秋枝克恵
がんばれ、じゃなくて がんばるね 言葉でなくて 私の背中			二俣川小	川杉あさ珠
一人二役 楽しみ二倍 やりがい二倍 母子家庭			二俣川小	川杉あさ珠

第6回三行詩コンクール佳作作品

作	品	学年	学校名	発表名
家族で囲む我家の食卓 100まで数える熱い風呂 陽香るふかふか布団 これが私の宝物			二俣川小	川杉あさ珠
テストで百点 のがしても 元気にあいさつ 一万点			大道小	しん&かじゅ&ふー
”ありがとう”でステキだね。 友達同士でありがとう 家族の中でもありがとう なんだか心があったかい。			深谷中	すず
良いことで 一度くらいは 泣かせたい 普通の娘が 思ってる			左近山中	鳩ポッポ
愛情に無駄はない たくさん使って 家族愛！！			北綱島特別支援・保	前田章子
笑顔も涙もへの字口も 丸ごと持ち帰ってごらん ママが全部食べてやるから さあ、ごはんにしよう			矢向小	ルミ姉さん
利かん坊 寝顔は天使 我が家の宝			仲尾台中・保	指原信一
弟の食事のマナー、指導係はお兄ちゃん。 母より効くのは、何故だろう。				加瀬美和
「ママ抱っこ」 気付けば後ろ姿見てる日々 かけがえない幸せ 私達が成長していく軌跡			深谷中・保	高橋優子
何度も「僕が産まれたときの話をして」という息子 何度でもはなしてあげるよ たくさん教えてあげるよ			汲沢小	板橋千浪
「また五個も〜？」食べる前から不満顔 一汁三菜プラスご飯 伝えたいのよ、未来の君に			緑小	羽山千栄子
残すなら 僕が食べると 太る君			鶴ヶ峰小	樋口千恵子



第6回三行詩コンクール佳作作品

作	品	学年	学校名	発表名
揺らぐ不戦の誓い 次代へ戦争の記憶語り継ぎ 家族へつなぐ命の Baton			瀬戸ヶ谷小	大久保賀世
目を合わせ笑って話して川の字なんて、全部イヤだの思春期に。でも母は、その先で喜び君を待ってるよ。			岩井原中	高須佳津子
おばあちゃんの荷物には舎田の空気や孫を想う思いやりも入ってる。我が家に届く宝箱。			豊田小	上島美子
「お母さんのごはんはだいたい美味しいよ」と息子。キレイになったお皿がみれたら母さんは満足です。			豊田小	上島美子
命と命が出合う瞬間 心をこめて「いただきます」 未来の自分を作ってくれる すべての命に手を合わせて			奈良の丘小	佐平文恵
腹ペコ族、ままのおにぎり ほおばる笑顔 「おいしい」は、「いとおいしい」に似ているんだね。			永野小	塙律子
食べる 笑う 目をみる 笑う また食べる それだけでいいんだ			矢向小	滝 貴美子
君の口元は、戦死した曾祖 父によく似ている。だから 君は、誰よりも熱く平和を うたえ。			日限山中	井上有子
東北の海辺の父と 子らつなぐスカイプで 食卓は二つだけれど 思いは一つ			緑小	奥 久美
「ごはんだよー」 我が家のシェフに感謝して、 家族みんなで食卓準備			山下みどり台小	角田靖恵